



新型コロナウイルスへの対応

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期のため、協会事業の多くは中止や延期を余儀なくされました。特に外国との人の往来が制限される中、姉妹友好都市との交流事業に大きな影響がありました。

こういった状況ではありますが、当協会はコロナ時代に即した業務実施体制を整備し、感染拡大防止ガイドラインに従いながら、できうる範囲の事業を実施しました。

令和2年度に中止された事業	令和3年度計画(案)
カンザシティ市・クライストチャーチ市 生活体験団派遣・学生親善使節受入	派遣・受入なし
少年少女友好の翼訪中団派遣 鎮江市訪問団受入	7月にオンライン交流を実施予定
協会総会での講演会	6月に協会総会でのオンライン視察を実施予定
倉敷イングリッシュキャンプ	8月実施予定
JICA中国施設訪問	9月実施予定
倉敷国際ふれあい広場	10月実施予定

感染防止対策とオンライン環境整備



感染拡大防止のため、アクリルパネルやアルコール消毒液、非接触型体温計等を購入し、事業を実施する際に使用しています。

また、一部事業をオンラインで実施するために、カメラ付パソコンやWiFiルーター、ヘッドセット等を調達

し、Zoomのプロライセンスを契約しました。

現在、国際理解講座のグローバル・コミュニティ・イン・イングリッシュで活用しています。令和3年度はZoomウェビナーを導入し、同時に最大500人が参加するイベントが可能になる予定です。



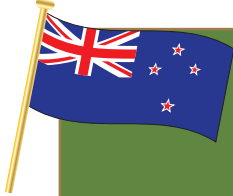
姉妹友好都市との交流状況

対面での交流事業はありませんでしたが、Zoomを使って姉妹友好都市側の担当者と今後の事業について協議しました。

令和4年は、サンクトペルテン市(65周年)、カンザシティ市(50周年)、鎮江市(25周年)と、それぞれ周年事業を予定しています。それまでにコロナ禍が収束してくれることを願っています。

令和2年1月、鎮江市からの支援要請により倉敷市からサージカルマスク1万枚を送りました。その御礼として、令和2年4月、鎮江市よりサージカルマスク3万枚が届きました。





KIWI応援団くらしき

～倉敷市は東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンです～

オリンピックウエイトリフティング ニュージーランド(NZ)選手への応援動画

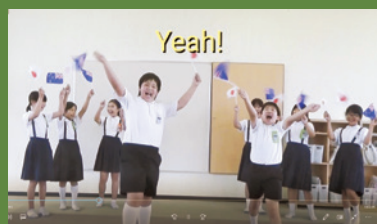
平成30年度・令和元年度に市内で事前キャンプをしたNZのウエイトリフティングチームの選手に向けて、交流のあった市民の方々にご協力いただき、応援のメッセージ動画を送りました。動画はそれぞれのQRコードを読み取ればご覧いただけます。



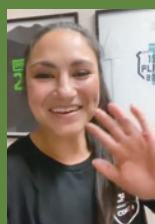
倉敷市出身のウエイトリフティング選手からのメッセージ



倉敷商業高等学校ウエイトリフティング部生徒からのメッセージ



中洲小学校児童・教職員からのメッセージ



オリンピックウエイトリフティングNZの選手から市民の皆様へお礼のメッセージ

ニュージーランド・ホストタウン横連携事業 リレーソング動画



ニュージーランドを相手国とする全国のホストタウン(16登録団体)が連携して応援のリレーソング動画を作成しました。倉敷市では障がい者親善大使と青少年生活体験団のOB・OGが美観地区での撮影にご協力くださいました。

この動画はNHKワールドJAPANによりニュージーランドをはじめ160の国と地域でテレビ放映されたほか、令和3年2月に開催された「ホストタウンサミット2021」においても取り上げられました。現在、当協会Facebookでご覧いただけます。

「ホストタウンサミット2021」出展・発表 2月20日～21日

オンライン開催となった「ホストタウンサミット2021」のニュージーランドモデルルームに出展し、倉敷市の取組について事例発表を行いました。サミットには倉敷市・クライストチャーチ市姉妹都市委員会の方々やオリンピックウエイトリフティングNZの関係者をご参加くださり、オンラインで交流を深めました。

おもてなし英語講座

「おもてなし英語」を学ぶ講座(7回講義)を実施しました。美観地区では英語による道案内を実践しました。





多文化共生に向けた取り組み

倉敷市在住の外国人市民は年々増加しており、令和3年2月には7千人を突破しました。近年は技能実習生の割合が高まりつつあり、特にベトナム出身者が急増しています。

倉敷市では、外国人市民が地域社会にとけ込み、安全かつ安心して暮らせるように支援するとともに、日本人市民とともに地域づくりを行う多文化共生のまちづくりを推進しています。当協会も、地域で活動する日本語教室や国際交流団体を支援したり、交流イベントを実施しています。令和2年度は例年開催している倉敷国際ふれあい広場が中止となりましたが、その会場を利用して日本語教室指導者勉強会を実施しました。

日本語教室指導者勉強会

10月17日

留学生にリモートで授業している講師から、オンラインによる日本語学習指導法を学びました。離れた部屋で受講者役を体験したり、グループに分かれたりしながら、オンラインで教えるためのアドバイスをいただきました。



倉敷市の取り組み

外国人相談窓口開設

10月1日



13言語(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語・フィリピン語・インドネシア語・ヒンディー語・タイ語・フランス語・ロシア語)で情報提供や相談を行う相談窓口を市役所1階19番窓口開設しました。

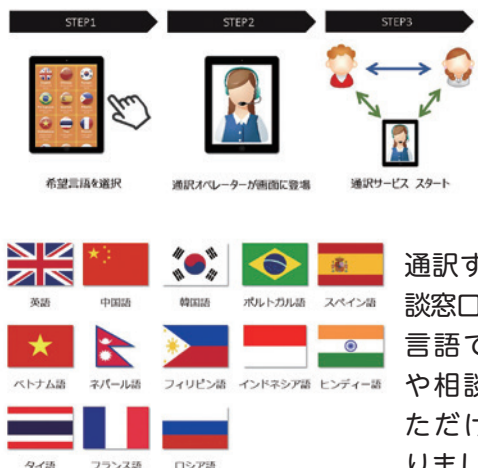
月曜日～金曜日 9時～17時
祝日、年末年始は休み
電話：086-426-3014

100か国語で情報が得られるホームページ開設



相談窓口開設にあわせて、スマートフォンやタブレットで設定している言語(100か国語)に自動翻訳されるホームページを開設しました。新型コロナウイルス感染症に関する情報発信や、倉敷市からののお知らせにQRコードを張り付けて多言語での情報発信を行いました。

タブレットでのオンライン通訳が大活躍



本庁、各支所にあるタブレットを使い、テレビ電話でオペレーターが通訳することで、相談窓口と同様に13言語で各種手続きや相談にも利用いただけるようになりました。

職員向け「やさしい日本語」研修



外国人相談窓口開設にあわせて、「やさしい日本語」を用いた外国人への窓口対応を理解してもらうため、倉敷市職員に対して9月16日から10月15日までパソコンを利用したe-ラーニング研修を実施しました。



国際協力・貢献事業

国際協力について考える日 2月11日

例年実施している倉敷市出身のJICA海外協力隊活動報告会と外貨コイン募金で国際貢献事業の寄託式を同時に行いました。

令和2年に帰国した3人のJICA海外協力隊に、任国での生活や文化に直接触れた経験、国際協力の現場で感じた事などをお話しいただき、参加者58名が理解を深めました。

(参加者のアンケートより)

「日本にしていると当たり前を感じていることが、世界ではそうでないことを知ったり、ネットやテレビの情報だけではわからない現地の様子を知ることができた。」

「1人の人間の行動により世界はつながる事が出来たんだと感じた。すばらしい時間、心動かされる時間をありがとうございました。」

ユニセフ 外国コイン募金

岡山ユニセフ協会の片岡事務局長に外国コイン募金の説明をしていただき、今年度集まった16か国5.6キロ約4万5千円とその他の外貨2.4キロを日本ユニセフ協会に寄付しました。



シニア海外ボランティア

ブータン・観光 白川氏



青年海外協力隊

タンザニア・数学教育 浦氏



青年海外協力隊

マレーシア・野球 上戸氏



倉敷市国際交流協会Facebookやってます!

倉敷市国際交流協会のFacebookページでは、協会事業の案内・募集情報や写真・動画を発信しています。また、災害時の避難情報等、在住外国人に向けた緊急時の情報発信にも用いていますので、ぜひ「いいね/Like」をお願いします。

スマホをお持ちの方は右のQRコードを読み取れば、当協会Facebookページが開きます。



倉敷市国際交流協会
@kurakokukyo

【会員募集中!】

倉敷市国際交流協会では会員を募集しています。年会費は一口2,000円、法人・団体が一口5,000円です。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をお送りするほか、講座受講料が無料・もしくは割引になるなどの特典があります。国際交流のテーマに少しでも関心をお持ちの方はぜひ協会にご入会ください。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL:086-426-3015 FAX:086-426-4095
E-mail:intntnl@city.kurashiki.okayama.jp
URL:http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。